

## 国際協調

食品安全委員会は、海外のリスク評価機関と定期的に会合を持つなど積極的に連携強化に取り組んでおり、最新の情報と意見の交換等を行っています。

## 海外専門家を講師に迎えた勉強会の開催

2019年7月11日、ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)の農薬部長を講師に迎え、化学物質の複合影響評価に関する欧州での取り組みや食品中の残留農薬のリスク評価をテーマとした勉強会を開催しました。

また、2019年12月5日には、JMPRに長年参加され、国際的なリスク評価に貢献された豪州農業省の専門家を講師に迎え、食品中の残留農薬のリスク評価をテーマとした勉強会を開催しました。

## 国際機関の専門家会合への参加

※下線部は開催地

### 1 JECFA (FAO/WHO合同食品添加物専門家会議) / JMPR (FAO/WHO合同残留農薬専門家会議)

2019年5月7～17日	FAO/WHO合同残留農薬専門家会議(JMPR)2019追加会合	<u>カナダ</u>
2019年6月4～13日	第87回FAO/WHO合同食品添加物専門家会議(JECFA)	<u>イタリア</u>
2019年9月17～26日	FAO/WHO合同残留農薬専門家会議(JMPR)2019	<u>スイス</u>

### 2 OECD (経済協力開発機構)

2019年6月27・28日	第34回経済協力開発機構農薬作業部会	<u>フランス</u>
---------------	--------------------	-------------

### 3 Codex (コーデックス委員会)

2019年4月27日～5月5日	第13回コーデックス汚染物質部会(CCCF)及び化学物質リエゾングループ会合	<u>インドネシア</u>
2019年12月9～13日	第7回コーデックス薬剤耐性菌に関するタスクフォースセッション	<u>韓国</u>

### 4 その他

2019年9月24～26日	レギュラトリーサイエンスに関する国際会合(GSRS)2019	<u>イタリア</u>
---------------	--------------------------------	-------------

## リスクコミュニケーション

食品安全委員会は、食品健康影響評価の結果や食品安全に関する基礎的な知識について、消費者、食品関係事業者、研究者、報道関係者、行政担当者等の様々な立場の方と意見・情報を交換しています。

## 講座「精講」

「精講」は、食品健康影響評価やリスクプロファイル<sup>※</sup>について理解を深め、活用していただくことを目的としています。2019年度は、リスクプロファイル「鶏肉等におけるカンピロバクター・ジェジュニ/コリ」(6月開催)や同「ノロウイルス」(10～12月開催)をテーマとして計5回開催しました。

各講座とも食品事業者を中心に合計300名以上の方が参加されました。質疑応答では、細菌及びウイルスの性状や検出状況・具体的な食中毒予防策・海外情報といった幅広い分野においてさまざまな質問が出され、関心の高さがうかがわれました。

※リスクプロファイル：食品の安全性に関する問題及びその背景を記述した文書

